

畑作・野菜・花き用除草剤

ゴーゴーサン乳剤・細粒剤F | ガイドブック |

guidebook

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>

©BASF社の登録商標

21.04/1(ZN)
0615-200 ver.5

□・BASF

We create chemistry

畑作・野菜・花き用除草剤

ゴーゴーサン乳剤・細粒剤F

除草剤分類 3

ゴーゴーサンは1983年の登録以来、
数多くのお客様にご愛用いただいております。



1. イネ科・広葉雑草に効く!

雑草発生前の土壌処理で、ノビエ、メヒシバなどの一年生イネ科雑草から、スベリヒユ、ハコベなどの一年生広葉雑草、カヤツリグサ科まで幅広い雑草に効果を発揮します。

2. 長い除草効果!

薬剤の成分が土壌の表面に安定した処理層を形成し、40～60日間にわたり雑草の発生を抑えます。

3. 多くの作物に!

畑作物から野菜、花き類まで、数多くの作物に使用できます。

目次

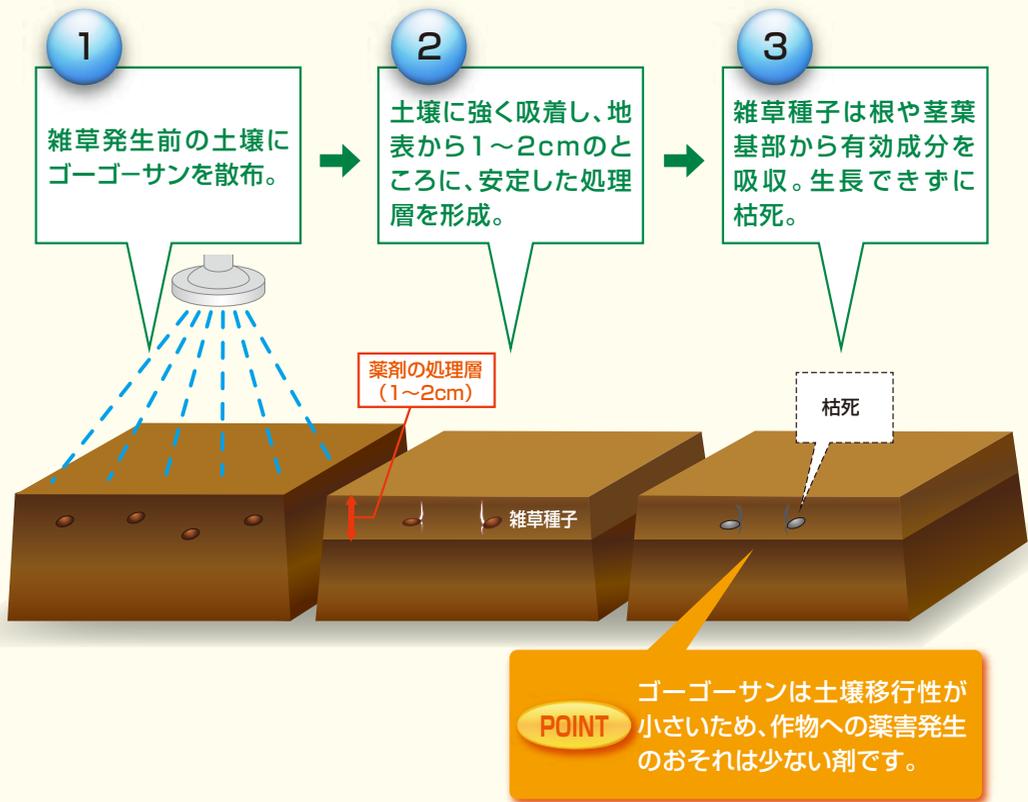
- ゴーゴーサンが効く仕組み……………1
- ゴーゴーサンの使い方、
ここがポイント……………2
- ゴーゴーサンが効く!主な雑草……………3
- ゴーゴーサンならではの!
多くの作物で使用可能……………4
- 効果・薬害等の注意事項……………32

主な作物の散布目安

小麦……………6	にんにく(マルチ栽培)……………19
麦類……………7	らっかせい……………20
たまねぎ(マルチなし栽培)……………8	キャベツ……………21
たまねぎ(マルチ栽培)……………9	はくさい……………22
にんじん……………10	レタス・非結球レタス……………23
ばれいしょ……………11	カリフラワー……………24
かんしょ……………12	アスパラガス……………25
さといも……………13	ソルガム……………26
やまのいも……………14	しょうが……………27
こんにゃく……………15	陸稲……………28
ねぎ……………16	チューリップ……………29
にら……………17	きく……………30
にんにく(マルチなし栽培)……………18	すぎ・ひのき……………31

ゴーゴーサンが効く仕組み

ゴーゴーサンは土壌表面1～2cmの深さに薬剤の処理層を形成し、その深さにある雑草種子の幼芽・幼根の生長点に作用することで、細胞の分裂を阻害し、雑草を枯死させます。



ゴーゴーサンの使い方、ここがポイント

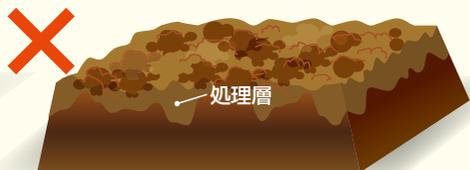
ポイント① 砕土、整地はていねいに!

● 耕起や整地が十分に行われると

● 耕起や整地が不十分な場合は



薬剤処理層が均一に形成され、安定した除草効果を発揮。



土塊の下部や側面に適切な処理層が形成されず、除草効果が劣ることも。

ポイント② 土壌水分もチェック!

降雨などの環境条件に左右されにくい、ゴーゴーサン。

ただし、激しい降雨が予想されるときの使用をさけてください。また、極端な乾燥や過湿には注意が必要です。

ここがポイント

適湿状態をチェック!

土壌を手のひらで軽く握ると土壌塊ができ、また簡単に崩せるような状態が適湿です。



ゴーゴーサンが効く! 主な雑草

一年生イネ科雑草



ノビエ



メヒシバ



エノコログサ



スズメノカタビラ
(一年生または越年生)

一年生広葉/カヤツリグサ科雑草



カヤツリグサ



オオイヌタデ



タニソバ



スペリヒユ



ハコベ
(一年生または越年生)



イヌビユ



ホトケノザ
(一年生または越年生)



オオイヌノフグリ
(一年生または越年生)

※キク科雑草(タンポポ等)、ツユクサには効果が劣ります。
また、ハマスゲ、スズメノヒユ、ヨモギ等の多年生雑草には効果がありません。

ゴーゴーサンならでは!多くの作物で使用可能

種をまく、種いも等を
植え付けする食用作物



ゴーゴーサン [®] 乳剤	
米、麦類	小麦、麦類、陸稲
いも類	こんにゃく さといも ばれいしょ やまのいも
野菜	しょうが にんじん にんにく 葉にんにく らっきょう
雑穀	とうもろこし ヤングコーン
飼料	飼料用とうもろこし ソルガム
豆類	らっかせい

ゴーゴーサン [®] 細粒剤F	
米、麦類	麦類、陸稲
いも類	こんにゃく さといも ばれいしょ
野菜	しょうが にんじん にんにく 葉にんにく パセリ
雑穀	とうもろこし ヤングコーン
飼料	飼料用とうもろこし ソルガム
豆類	らっかせい

苗を移植する食用作物



ゴーゴーサン [®] 乳剤	
いも類	かんしょ
野菜 (アブラナ科)	キャベツ はくさい カリフラワー
野菜 (その他)	アスパラガス うど 食用ぎく たまねぎ 葉たまねぎ にら ねぎ ふき レタス 非結球レタス

ゴーゴーサン [®] 細粒剤F	
野菜 (アブラナ科)	キャベツ はくさい
野菜 (その他)	アスパラガス たまねぎ 葉たまねぎ ねぎ レタス 非結球レタス

花き、薬草、樹木の苗、工芸

ゴーゴーサン [®] 乳剤		ゴーゴーサン [®] 細粒剤F		
花き	きく チューリップ りんどう	花き	きく チューリップ つつじ類	
薬草	おけら いんちんこう せんきゅう とうき とりかぶと(薬用) みしまさいこ びやくし とうすけぼうふう	薬草	みしまさいこ いぐさ	
	樹木の苗	すぎ(床替床) ひのき(床替床)	工芸	桑
	工芸	桑		

ゴーゴーサンの使用方法については、製品ラベルや弊社ホームページにてご確認ください。

※適用作物は2021年4月21日現在のものです。

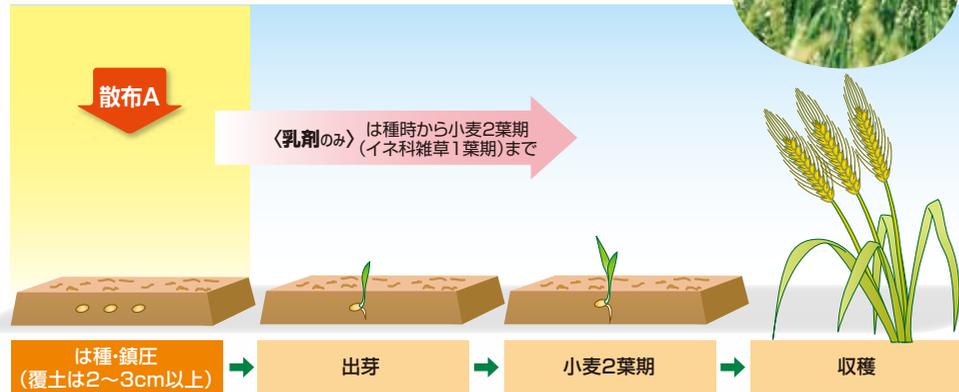
©:BASF社の登録商標

主な作物の散布目安

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安

小麦



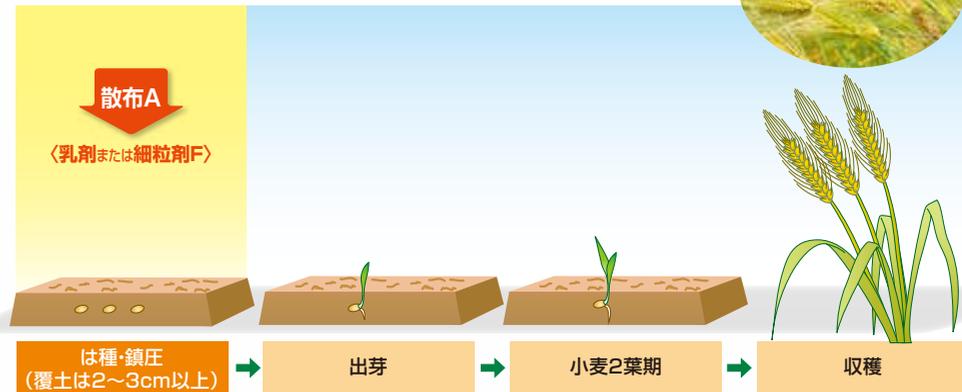
散布A は種後(雑草発生前)~小麦2葉期(イネ科雑草1葉期まで)
全面土壌散布/雑草莖葉散布

乳 剤	300~500mℓ/10a (希釈水量: 70~100ℓ/10a)	<ul style="list-style-type: none"> ● 碎土・整地をていねいし、葉害発生をさけるため、覆土は2~3cm以上にご確認ください。 ● 効果低下や葉害発生の原因になるので、排水不良田(畑)での処理はさけてください。
-----	--------------------------------------	---

散布A は種後出芽前(雑草発生前)

細粒剤F	5~6kg/10a	<ul style="list-style-type: none"> ● 碎土・整地をていねいし、葉害発生をさけるため、覆土は2~3cm以上にご確認ください。 ● 効果低下や葉害発生の原因になるので、排水不良田(畑)での処理はさけてください。
------	-----------	---

麦類

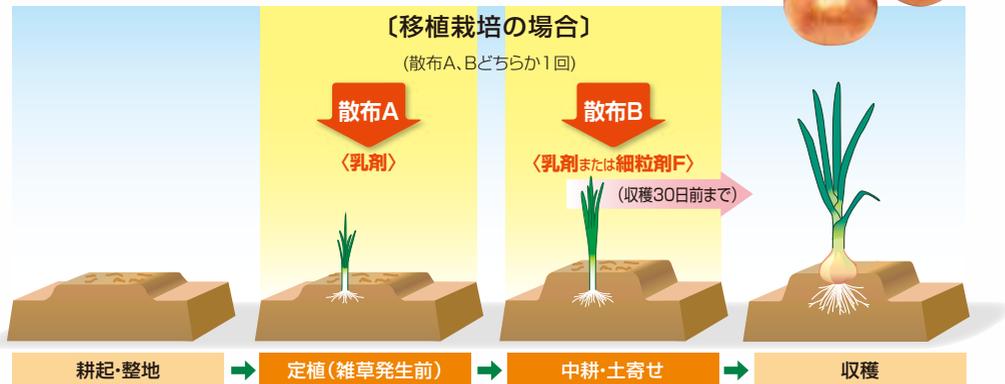


散布A は種後出芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	300~500mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	
細粒剤F	5~6kg/10a	

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

たまねぎ〈マルチなしの場合〉



〈移植栽培〉

散布A 定植前(雑草発生前)・全面土壌散布

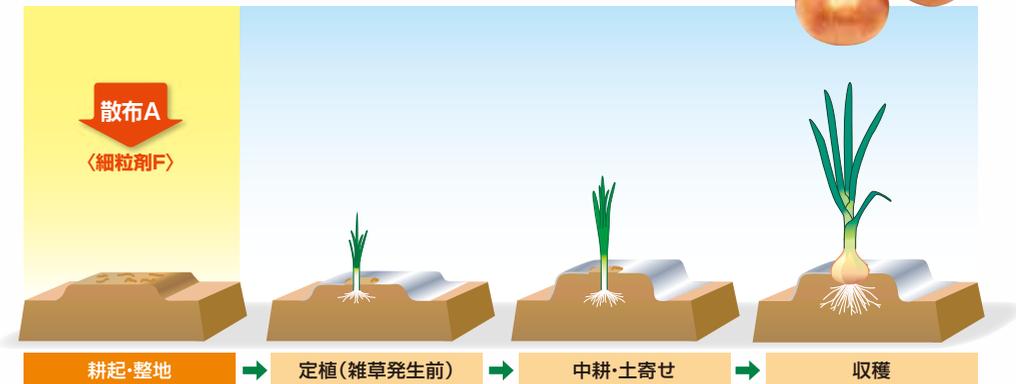
乳 剤	300~500mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	
-----	--------------------------------------	--

散布B 定植後(雑草発生前)、ただし収穫30日前まで・全面土壌散布

乳 剤	300~500mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	
細粒剤F	5~6kg/10a	●秋播栽培の使用時期は「定植後又は生育期(雑草発生前)但し、収穫30日前まで」。

主な作物の散布目安

たまねぎ〈マルチ栽培の場合〉



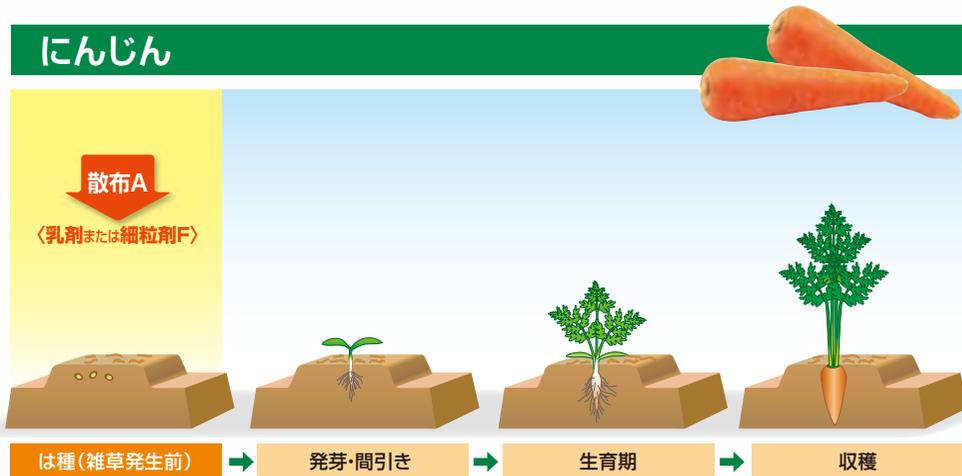
〈秋播マルチ栽培〉

散布A 定植前(マルチ前)・全面土壌散布

細粒剤F	5~6kg/10a	
------	-----------	--

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安



散布A は種後出芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	
細粒剤F	4~5kg/10a	

散布A 植付後萌芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳剤	200~300mℓ/10a (希釈水量: 70~100ℓ/10a)	
細粒剤F	4~6kg/10a	●北海道を除く。

〈マルチ栽培〉

散布 植付後マルチ前、ただし萌芽前まで(雑草発生前)・全面土壌散布

細粒剤F	4~6kg/10a	●北海道を除く。
------	-----------	----------

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安



散布A 挿苗10日後まで(雑草発生前)・畦間土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 100ℓ/10a)	●畦間土壌散布を行う場合、作物に飛散しないように注意してください。
-----	-----------------------------------	-----------------------------------



※ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数: 2回以内

散布A 植付前(雑草発生前)・全面土壌散布

細粒剤F	4~6kg/10a	
------	-----------	--

散布B 植付後萌芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 70~100ℓ/10a)	
細粒剤F	4~6kg/10a	●北海道を除く。

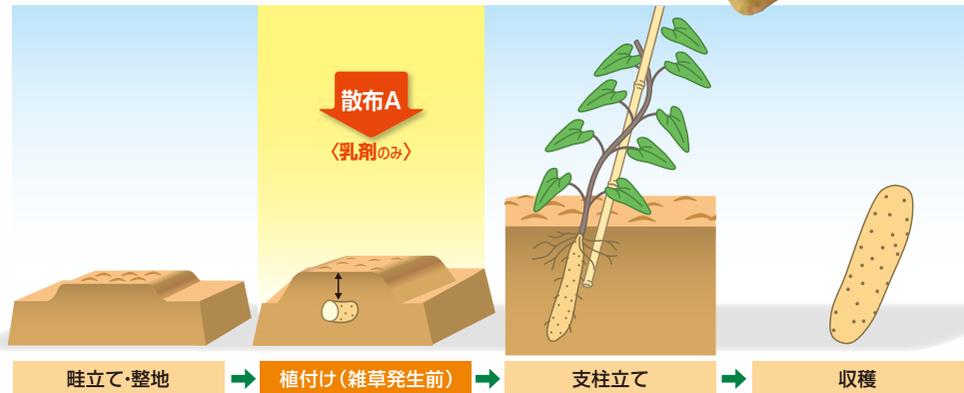
散布C 土寄せ後(雑草発生前)、ただし収穫60日前まで・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 100ℓ/10a)	
細粒剤F	4~6kg/10a	

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安

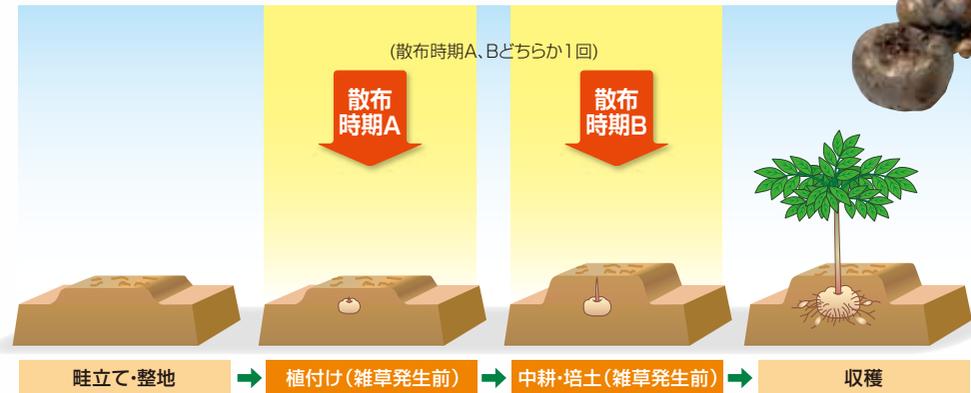
やまのいも



散布A 植付後萌芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 100ℓ/10a)	
-----	-----------------------------------	--

こんにゃく



散布A 植付後または培土後(雑草発生前)、ただし植付30日後まで・全面土壌散布

乳 剤	200~300mℓ/10a (希釈水量: 70~100ℓ/10a)	●萌芽後は使用をさけてください。 ●北海道、九州を除く。
細粒剤F	5~6kg/10a	

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安



散布A 定植後、ただし定植10日後まで(雑草発生前)・全面土壌散布

乳剤	200~300mℓ/10a (希釈水量: 70~100ℓ/10a)	
細粒剤F	4~6kg/10a	



散布A 定植後、ただし定植10日後まで(雑草発生前)・全面土壌散布

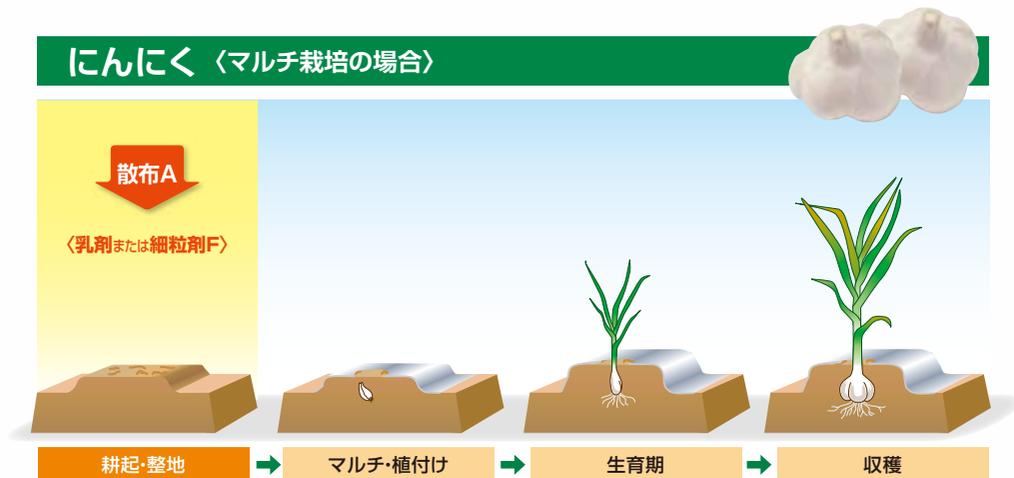
乳剤	200~300mℓ/10a (希釈水量: 100ℓ/10a)	
----	-----------------------------------	--

散布B 生育期(刈取り後)~収穫30日前まで(雑草発生前)・畦間土壌散布

乳剤	200~300mℓ/10a (希釈水量: 100ℓ/10a)	<ul style="list-style-type: none"> ●畦間散布は刈取り・収穫後、次回の収穫30日前までに各1回散布できます。 ●畦間散布時は、飛散防止カバーを使用して作物にかからないよう散布してください。
----	-----------------------------------	---

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安



散布A・B 植付後(雑草発生前) 但し、収穫60日前まで・全面土壌散布

乳 剤	300~500mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	
細粒剤F	4~6kg/10a	

散布A 植付前(マルチ前)(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	300~500mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	
細粒剤F	4~6kg/10a	

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安

らっかせい



散布A は種後出芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~300mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	●関東以西。
細粒剤F	5kg/10a	

キャベツ



散布A 定植前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	●セル成型苗には使用をさけてください。
細粒剤F	4~5kg/10a	●散布後2~3日間は大量の灌水をしないでください。 ●セル成型苗には使用をさけてください。

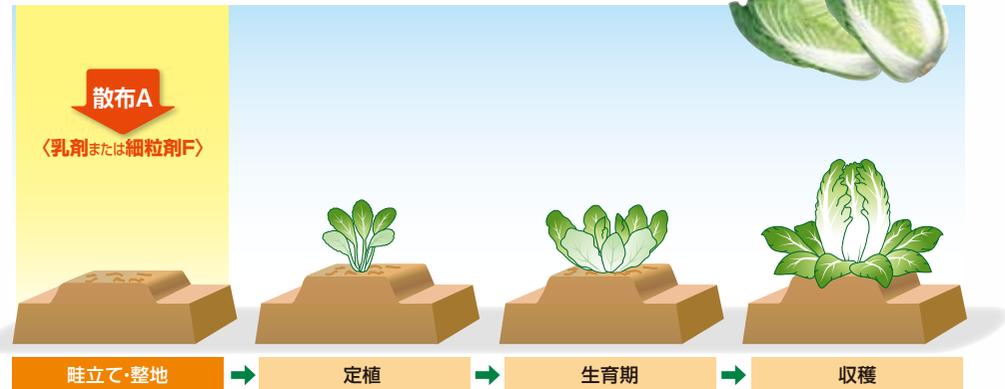
散布B 定植後~定植翌日(雑草発生前)・全面土壌散布

細粒剤F	4~5kg/10a	●散布後2~3日間は大量の灌水をしないでください。 ●セル成型苗には使用をさけてください。
------	-----------	--

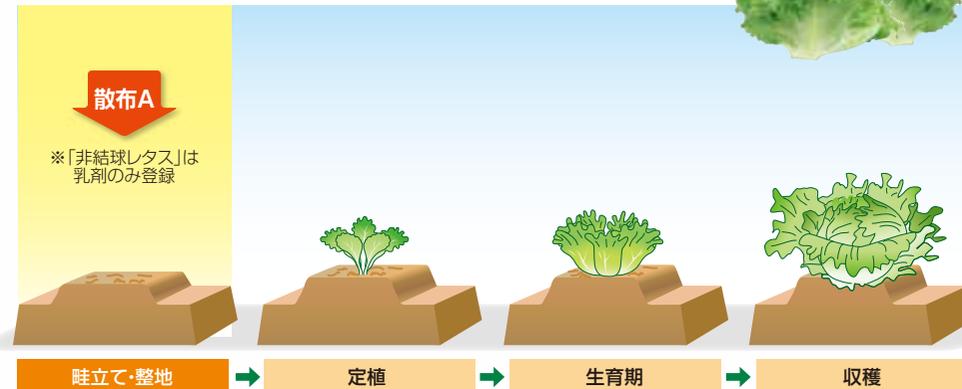
ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安

はくさい



レタス・非結球レタス



散布A 定植前(雑草発生前)・全面土壌散布

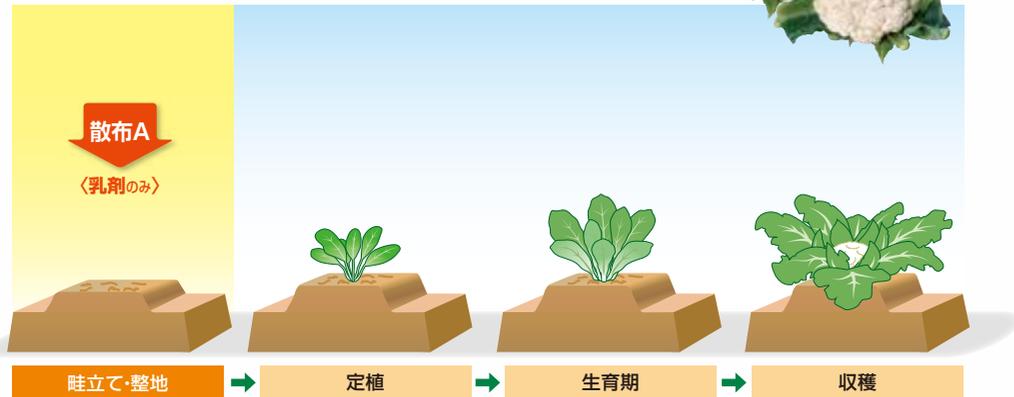
乳 剤	200~300mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	●定植後の使用はさけてください。 ●セル成型苗では使用をさけてください。
細粒剤F	4~6kg/10a	●定植後の使用はさけてください。 ●極端な浅植え、深植え定植したセル成型苗では薬害発生に注意してください。

散布A 定植前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 75~150ℓ/10a)	●定植後の使用はさけてください。 ●5葉期以上に生育した苗を移植してください。 ●非結球レタスの新品種の使用には事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。 ●セル成型苗では使用をさけてください。
細粒剤F	4~6kg/10a	●定植後の使用はさけてください。 ●5葉期以上に生育した苗を移植してください。 ●極端な浅植え、深植え定植したセル成型苗では薬害発生に注意してください。

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

カリフラワー

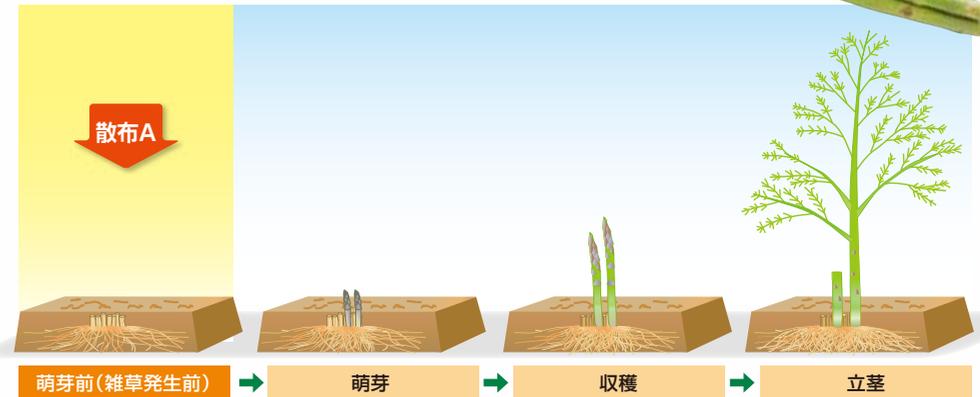


散布A 定植前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量:70~150ℓ/10a)	●定植後の使用はさけてください。
-----	-------------------------------------	------------------

主な作物の散布目安

アスパラガス

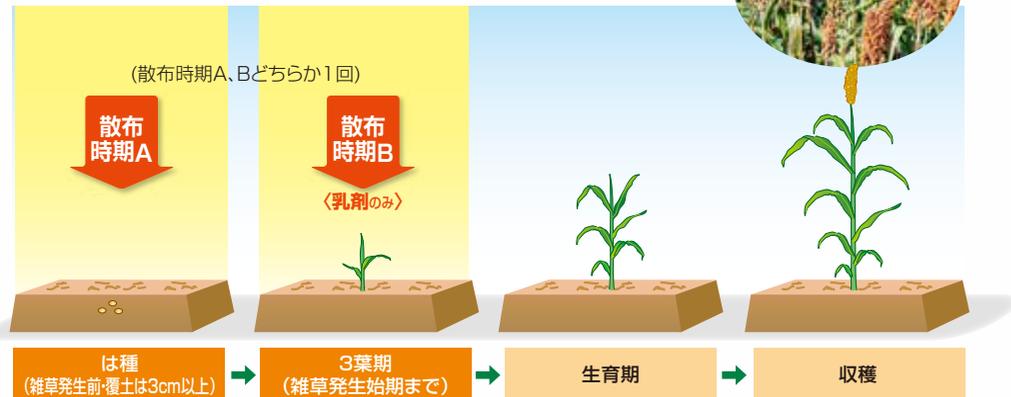


散布A 萌芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量:70~150ℓ/10a)	
細粒剤F	4~6kg/10a	

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

ソルガム



散布A は種後出芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

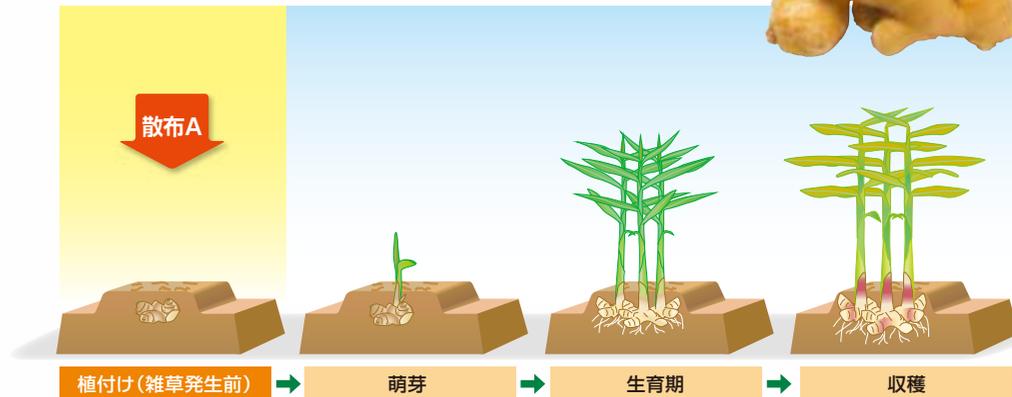
乳剤	300~400mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	<ul style="list-style-type: none"> ●覆土深は3cm以上にしてください。 ●スーダングラスでの使用はさけ、スーダン型、ソルゴー型、兼用型、子実型に使用してください。 ●メヒシバ優先圃場では、メヒシバ1葉期までに処理してください。
細粒剤F	4~6kg/10a	

散布B ソルガム3葉期(雑草発生前~発生始期)・全面土壌散布

乳剤	300mℓ/10a (希釈水量: 70~100ℓ/10a)	<ul style="list-style-type: none"> ●スーダングラスでの使用はさけ、スーダン型、ソルゴー型、兼用型、子実型に使用してください。 ●メヒシバ優先圃場では、メヒシバ1葉期までに処理してください。
----	----------------------------------	--

主な作物の散布目安

しょうが

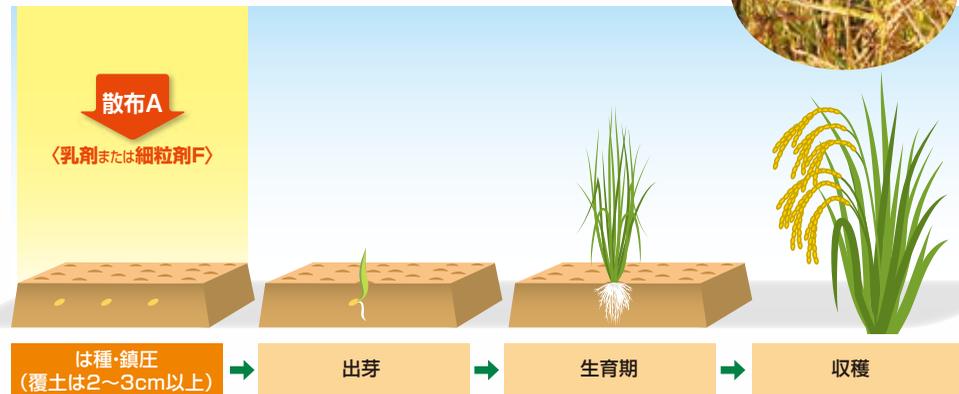


散布A 植付け後萌芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	
細粒剤F	4~6kg/10a	

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

陸稲



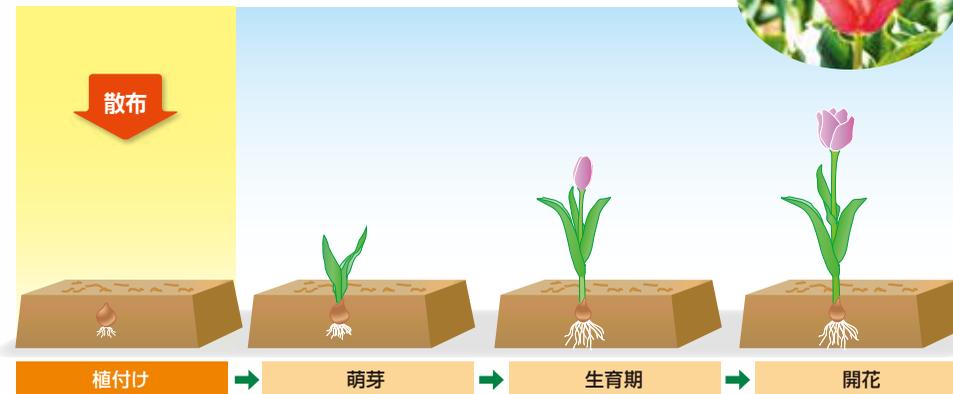
散布A は種後出芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	●北海道を除く全域。
細粒剤F	4~6kg/10a	

主な作物の散布目安



チューリップ



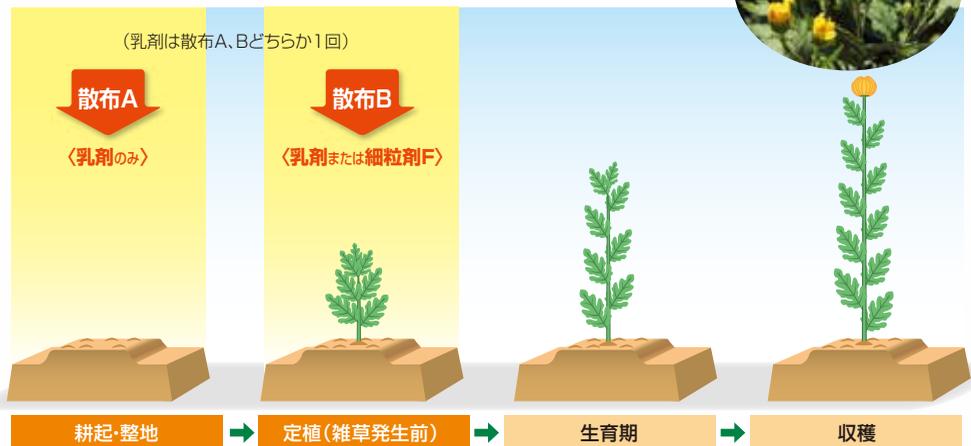
散布A 植付後萌芽前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳剤	300~500mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	●北海道を除く全域。
細粒剤F	4~6kg/10a	

ご使用前には必ず製品ラベル内容をご確認ください。

主な作物の散布目安

きく



散布A 定植前(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	●品種、栽培条件などによっては黄化、抑制等の葉害を生じるおそれがあるので、本剤を初めて使用する場合は、事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。
-----	--------------------------------------	---

散布B 定植後(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	200~400mℓ/10a (希釈水量: 70~150ℓ/10a)	●品種、栽培条件などによっては黄化、抑制等の葉害を生じるおそれがあるので、本剤を初めて使用する場合は、事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。
細粒剤F	4~6kg/10a	

すぎ・ひのき



散布A 床替え後(雑草発生前)・全面土壌散布

乳 剤	400~500mℓ/10a (希釈水量: 100~200ℓ/10a)	
-----	---------------------------------------	--

効果・薬害等の注意事項

△ 使用上の注意

〔乳剤・細粒剤F共通〕

- 本剤は雑草の発生前～発芽時に有効ですが、雑草の生育が進むと急激に効果が低下するので、使用時期を失しないように散布してください。
- 本剤はイネ科および広葉草の一年生雑草に効果がありますが、キク科雑草とツユクサには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場では使用しないでください。
- 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので、土壌が適度の水分を含んでいる時に散布してください。
- 水田裏作の麦に使用する場合、排水不良の畑では使用をさけてください。
- ソルガムに使用する場合、覆土深は3cm以上としてください。また散播では使用しないでください。
- 本剤はマルチ栽培のとうもろこしに薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- さくのみ品種、栽培条件などによっては黄化、抑制等の薬害を生じるおそれがあるので、本剤を初めて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

〔乳剤〕

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 砕土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行ってください。
- 砂土では使用しないでください。
- はげしい降雨が予想される時には使用をさけてください。
- 散布にあたっては、他作物に飛散しないよう十分注意して使用してください。
- 薬にはかからないように注意してください。
- キャベツ、はくさい、レタスおよび非結球レタスのセル成型苗には薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
- うどおよびらで畦間土壌散布を行う場合、飛散防止カバー

を使用して作物にかからないように散布してください。

- かんしよで畦間土壌散布を行う場合、薬液が作物に飛散すると葉の奇形症状の薬害を生じるおそれがあるので、作物に飛散しないように注意してください。
- たまねぎの直播栽培では薬害を生じるおそれがあるので、初めて使用する場合は事前に薬害の有無を十分に確認してから使用することとし、は種深度は2cm以上としてください。
- たまねぎの秋播の直播栽培では、処理後に低温が続く条件下は生育抑制等の薬害を生じるおそれがあるので、たまねぎの1～2葉期に使用してください。
- 本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 本剤は衣服(白衣)などに散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

〔細粒剤F〕

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 砕土、整地はていねいに行い、は種後に使用する場合は、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行い、覆土深を2～3cm以上としてください。
- はげしい降雨が予想される時には使用をさけてください。またキャベツに使用する場合、散布後2～3日間は大量の灌水はしないでください。
- キャベツのセル成型苗には薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
- はくさい、レタスおよび非結球レタスで使用する場合、極端な浅植えや深植えに定植したセル成型苗には薬害を生じるおそ

れがあるので注意してください。

- 重複散布すると薬害のおそれがあるので、まきムラのないように均一に散布してください。
- 本剤は衣服(白衣)などにかかると変色するおそれがあるので、かからないよう注意してください。

△ 安全使用上の注意

〔乳剤〕

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布液調製時および散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

〔細粒剤F〕

- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に

立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

△ 水産動植物への注意

〔乳剤〕

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

△ 取扱い上の注意

〔乳剤〕

- 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意してください。

△ 貯蔵上の注意

〔乳剤〕

- 火気をさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な場所に密栓して保管してください。

〔細粒剤F〕

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

